

## スカラシップにおけるコロナ対応

感染症拡大の状況によっては、応募後・採択後に関わらず計画の変更および中止を求める場合がある。

スカラシップに応募をする学生は下記の事項に注意したうえで計画を立て、遂行すること。

### 研究部門

- ・ 海外渡航など移動を伴わないこと（国内移動も原則として推奨しない）。
- ・ 資料購入に充てることを基本とする。

### 制作部門

- ・ 原則として、人との接触機会を必要最低限とすること。

#### 1. 移動をともしない制作（主に個人制作）

移動を伴わない（在宅でのみ行なう）個人制作は、申請可。例えば、アニメーションなど。

集団制作を前提とする制作でも、移動をともしない制作は、申請可。

ただし、ドキュメンタリーや写真などの個人で制作する計画でも、移動をともしなう場合は下記の「移動をともしなう制作・集団制作」を参考にすること。

#### 2. 移動をともしなう制作・集団制作

発熱があった者、風邪症状（咳・咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢など）が出た者、味覚・嗅覚に異変がある者など体調不良者が確認された場合、すみやかに報告すること。

### 制作期間前

余裕をもった制作スケジュールを立てること。

参加者全員が、制作開始8日前までに発熱や風邪症状（咳・咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢など）が出ていないこと、味覚・嗅覚に異変がないことを確認すること。

発熱した者、風邪症状が出ている者、味覚・嗅覚に異変がある者など体調不良者がいた場合、制作に参加しないこと。

制作開始14日前までに海外渡航をした者および海外渡航した者と一定時間同じ場所にいた者は、制作に参加しないこと。

### 制作期間中

制作期間中、必ず検温・体調管理を行なうこと。

制作期間中に発熱した者、風邪症状が出ている者、味覚・嗅覚に異変がある者など体調不良者が出た場合、制作を一時中止すること。

制作が中断した場合の予備のスケジュールを予め立てること。

### 制作期間後

制作期間後、14日間は体調管理を行ない、不要不急の外出は避けること。

#### ・ 映画制作について

現場の人数を最小限にすること。

スタッフ間の距離（2m）を十分に取ること。

換気を十分行なうこと。

参加者の手洗い・消毒を徹底すること。

マスクを着用すること。

ケータリング・ビュッフェ方式の食事は禁止（お弁当方式）。

トイレを共用する場合、使用后、消毒すること。

オーディション・打ち合わせなどは可能な限りウェブ上で行うこと。

#### ・ 上演や稽古について

現場の人数を最小限にすること。  
スタッフ間の距離 ( 2m ) を十分に取ること。  
マスクを着用すること。  
参加者の手洗い・消毒を徹底すること。  
換気を十分行なうこと。

・ 発表について

発表時の感染症拡大の状況に即した適切な対応を行うこと。  
客席数を制限すること。  
客席の間隔を十分に取ること。  
入場前に消毒を行なうこと。  
スタッフはマスクを着用すること。  
発熱などの体調不良のある観客の入場を断ること。  
観客にマスクの着用を求めること。  
入場方法については、不特定多数が入場する状況を避け、予約制とするなどの対応をとる。  
無観客配信、記録映像のオンデマンド配信などの対応も選択肢として考慮すること。

参考：

- ・ 職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド  
<https://www.sanei.or.jp/images/contents/416/COVID-19guide210512koukai.pdf>
- ・ 映画撮影における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン  
[http://www.eiren.org/img/guideline\\_covid19\\_200709.pdf](http://www.eiren.org/img/guideline_covid19_200709.pdf)
- ・ 劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン  
[https://www.zenkoubun.jp/covid\\_19/files/0918covid\\_19.pdf](https://www.zenkoubun.jp/covid_19/files/0918covid_19.pdf)